

がんばる  
皆さんを応援!

## 株式会社フロンティア

障がい者が安全に作業できる電動式点字打刻機を国内で初めて開発し、今年2月に「第5回富山県ものづくり大賞」(主催/富山県)で特別賞、更に4月には「第29回中小企業優秀新技術・新製品賞」(主催/公財)りそな中小企業振興財団・日刊工業新聞社)で奨励賞を受賞された株式会社フロンティア。代表取締役の柳瀬哲夫さんにお話を伺いました。

### ⑥ 6畳一間でスタート

産業機械・工作機械等の商社で営業担当役員だった柳瀬社長は、45歳の時に、自ら考え、自ら製造し、自ら売る「セールスエンジニアリング」を目指して産業機械の会社を立ち上げました。昭和61年10月、オイルショックの影響が残る中、奥様と二人、6畳一間でのスタートでした。

「県内での営業展開にはある程度自信がありました。営業マンにもものづくりができる筈がないと思われて、なかなか仕事ももらえませんでした。私も自身も営業マンとしてのプライドがあつてネクタイが外せなくてね。いよいよ蓄えが底をついた時、ネクタイを外して作業服に着替え、県外で営業し

て回りました。」「この会社へ行っても『御社にはど

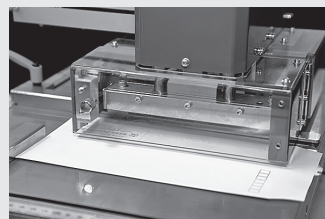
んな設備があるんですか? 何が作れるんですか? どんな仕事したいんですか?』と尋ねられて答えられなかったことに相当ショックを受けましたね。目標も実績もなくして仕事をもらえる筈がないですよ。具体的な提案をしなければならぬと思い、ある企業で手動式の工具を電動式にする開発を約束して帰りました。私には技術も設備もないので、いくつかの企業に協力してもらい試作品を完成させました。試作品が評価され、注文書ももらえた時は本当に嬉しかったですね。そしてこの時、実績のない私に、試作のための資金を融資してくれた銀行の支店長のことも今でも忘れません」

### ⑥ 熱心に働く障がい者のために

その後、徐々に機械を導入し、社内での製造体制が整っていききました。現在、薄物裁断機やプレス機、アルミサッシ長尺加工機、各種省力化機械・器具など、お客様の要望に応じて設計・開発し、使用環境や条件に最適な機械を自社工場で製造しております。また、常に新技術の研究開発にも取り組んでおられます。

リーマンショックで売上が激減した平成20年頃、福祉分野で仕事がないか探していた折、友人の福祉作業所を訪ねたそうです。労働賃金が健常者に比べて非常に安く、仕事量も不足しているにもかかわらず、障がい者の皆さんが熱心に仕事をしている姿を見た時、この状況を何とか改善したいと強く思い、周囲が反対する中、電動式点字打

刻機の開発に着手。1枚ずつレバーを上下させて打刻する手動式は力が必要で負担がかかり、打ち損じやすく生産性が低いという問題がありました。技術面は富山大学工学部や富山工業技術センターの力を借り、資金面は富山県イノベーション創出研究事業補助金や国のものづくり補助金を活用し、同26年に完成させました。同27年には当所が申請をサポートして小規模事業者持続化補助金の採択を受けておられます。



▲国内初の電動式点字打刻機

「ボタンを押すだけで紙製品に点字を打ち込める卓上型の機械です。様々な障がいを持つ人が操作することを想定し、誤操作やケガをさせないように福祉作業所の意見を100%取り入れました。機械の軽量化は当然だと思つてましたが、障がい者が機械をどこへでも持ち運んでしまふ危険性があつて、適度な重量が必要な場合もあることを知りました」

点字のエンボス加工の品質も、従来方式では加工時の破れを避けるために先端部が平らな形状になっていますが、柳瀬社長の打刻機はしっかりと丸く、鮮明なことも特徴です。点字打刻装置、エンボス加工用の金型製造方法・装置は特許を取得しています。

### ⑥ 「ありがとう」の言葉に感動

「どんなに良いものであつても新し

い物を事業展開するのは難しいって本当です。必ず『他の福祉作業所で使用した実績はあるか』と聞かれるので、何としても実績を挙げようと、機械を5台作つて県内の作業所に無償で貸出し、実際に作業してもらいました。1週間程して訪ねてみると、女性作業者の一人が1時間に1000枚の打刻ができるまでに上達していて、私に『楽しい機械、あ・り・が・と・う』と言いに来てくれたんです。言語障がいでも喋りづらい彼女が懸命に伝えてくれた感動しました」

福祉作業所が100%助成金で導入できる制度を活用し、申請等もサポートして実績ができました。県内では打刻作業のニーズが徐々に高まりつつあり、福祉作業所の利益向上に結びついてきているそうです。この度の受賞をきっかけに、富山モデルとして全国へ広がるのが期待されます。

「私たちの想像以上に福祉作業所の作業者の皆さんは熱心で、仕事をする能力を持っておられることを知つてもらいたい。そして、企業の社会貢献として障がい者の皆さんの力を活かそうという機運が高まるといいですね。ウチの社名はフロンティアですけど、やっていることはフロンティアといつも言つてるんですよ」と笑う柳瀬社長。当所は頑張つておられる同社をこれからも応援します!

富山市針原中町10226  
0076-45113717  
http://www.toyama-frontier.com/